

令和4年度 第1回 河北町総合教育会議 会議録

1 出欠席者氏名

河北町長 森谷 俊雄、河北町教育長 板坂 憲助

河北町教育委員 児玉 康子、木嶋 真一、榎 ふみえ、和田 茂樹

欠席者（0名）

2 事務局職員の職氏名

学校教育課長 秋場 弘昭、生涯学習課長 日下部 敦子

教育主幹(兼)指導主事 吉田 仁志、指導主事 秋葉 千絵

課長補佐(兼)教育総務係長 大泉 雅志

3 日 程

令和4年12月22日（木）午後2時55分 開会 河北町役場 3階 302会議室

1 開会

2 町長あいさつ

3 協議

(1) 河北町立小学校のあり方について

(2) 河北町中学校における休日の部活動の地域移行について

4 その他

5 閉会

1 開会

大泉課長補佐

定刻前ではありますが、皆さんお揃いですので、只今より、令和4年度 第1回河北町総合教育会議を開催いたしたいと思います。はじめに町長のほうから挨拶のほうをお願いしたいと思います。

2 町長あいさつ

森谷町長

教育委員会の会議に続いてということで、お疲れ様でございます。

コロナウイルスの感染状況ですが、現在全数把握していないので何とも言えませんが、8月の下旬が、第7波でピークだったのかと思います。県のほうでは、12月に入ってから毎日ではないのですが、毎週火曜日に市町村ごとに参考値として公表しているところであります。町については、横ばいかなと感じているところでございます。

それから、小学校のあり方における地区懇談会を行っているところですが、今後の検討について進めていただければと思います。アンケート結果をみておりますが、学区に関係なく7割の方が検討は必要だろうと考えているようです。今後の議論につながるような皆様のご意見をいただきながら、進めていきたいと思います。よろしくお願いします。

大泉課長補佐

それでは、協議に入らせていただきたいと思います。座長につきましては、町長のほうからお願いしたいと思います。

3 協議

森谷町長

それでは、河北町立小学校のあり方について、説明をお願いします。

板坂教育長

私からは、谷地西部小学校と北谷地小学校について、説明をしたいと思います。いずれの学区でも、最初に校長先生から教育に取り組んでいる様子について説明をし、課題と成果についてお話をさせていただきました。その後、吉田主幹からアンケートの結果について説明をしております。その後、テーマを二つ設けましてグループ討議をしていただいたところです。テーマにつきましては、「小学校の適正規模・適正配置について」、「小学校の今後のあり方や将来の学校像に対する本町の基本的な方針について」になります。いずれも人数規模は違い

ますが、5～6名のグループで、話し合ってもらいました。谷地西部小学校については、参加者が多く関心があると感じました。一番感じたことは、完全複式学級ですが、複式の良さを保護者が実際見てよく知っております。その中で、「複式をなくすのですか」という意見があり、統廃合・適正配置についての賛成意見はなかったところです。目立った意見としては、谷地西部小学校は昔から複式学級だが、複式があるから統廃合というのは、疑問であるとのことでした。統廃合というのであれば、町内1校で良いという意見でした。事後アンケートからは、「説明を聞いて納得したが、なぜ学校のあり方を検討しなければならないかを人数減少だけでなく、それに伴う財政の問題や少人数学級が増えたときの学校運営の大変さなどを感じた。」という意見がありました。

次に北谷地小学校ですが、西部小学校と違って、「統廃合は避けられないと感じている」という意見が多数でした。また、「合併するなら思いきって1校に」という意見がありました。事後アンケートからは、「統合はやむなしと思うものの、統合までの期間、複式ではなく、学年に1教員対応を是非ともお願いしたい」との意見がありました。

吉田主幹

溝延小学校について、ご説明させていただきます。意見の内容については、「統廃合するのか又はしないのかも含めてロードマップがないと意見が出にくい」とのことでした。また、「先生方の負担を考えると合併するのも必要なのでは」という意見もありました。

秋葉指導主事

西里小学校についてご説明いたします。その中で質問がありまして、「複式学級になると学力はどうなるのか」というものでした。複式学級は、子どもたちが自主性や自分たちで考え進めていくことを学んでいく環境にあるとお話したところでした。

また、グループ討議では、「統廃合はやむを得ない」という意見と、「どうしても地域に残してもらいたい」という二つの意見に分かれたところでした。「どう

しても地域に残してもらいたい」という意見の中で、「学校・家庭・地域は、三位一体」、「地域性」、「子どもたちを感じる環境」、「伝統継承」というお話がありました。

森谷町長

懇談会の内容について、確認したいことがあれば、お願いしたいと思います。

よろしいですか。

それでは、皆さんのほうからアドバイス等がありましたら、お願いしたいと思います。

児玉委員

参加者が多い学校については、学校と地域が一体化しているように感じました。

参加者少ないところについては、関心が薄いのか、関心の持たせ方を考えなければいけないのかなと思いました。今後話を進めるにあたり、町の財政面であったり、具体的な少子化の人数であったり、数値上で示せるようなことは示していったほうが、どちらの方向性になるにしても納得すると思います。

木嶋委員

この件については、なかなか難しい問題だと思います。将来的に児童が何人になるとか、財政的に学校が統合した場合と現状の6校を比較した資料を示したりしないと納得してもらえないのではないかと思います。各学区の意見については、千差万別であり、ひとつにまとめるのは難しいと思います。そういった点から、町としての考えを示し、意見をいただいたうえで、進めていかなければならないと思います。

和田委員

各学区の意見については、様々な意見がでており、皆さんが納得する答えはな

と思うので、ほかの学区での意見を情報提示するなどして、進めていかなければならないと思いました。

槇委員

学校訪問で、西部小学校の授業を拝見させていただき、複式学級とは、とてもいいシステムだと思いました。学校を残してほしいという気持ちもあるのですが、それを維持していくことを考えると、厳しいと思いました。

森谷町長

中部小学校と南部小学校の結果を踏まえてですが、検討委員会のほうで、それをベースに、来年度どういった議論の展開をしていくのかだと思います。

町民の方から、これまでのアンケートや懇談会の意見を広報でみていただき、そのうえで、今後については、視点を変えた形で進めなければと思います。

児玉委員

例えば、統合することによる児童の多さの問題もあると思いますので、様々な項目を提示しないと、町民の方は判断できないと思います。

森谷町長

ほかに皆さん方からなにかございませんか。ないようでしたら、河北中学校における休日の部活動の地域移行について、説明をお願いします。

日下部課長

先月の教育委員会の中で、検討委員会の設置要綱について説明させていただいたところですが、今後の進め方について説明させていただきます。

地域移行の概要につきましては、生徒にとって望ましいスポーツ及び文化活動環境の構築と教員の働き方改革の両立を目指し、中学校の休日の部活動を段階的に地域に移行するものになります。背景といたしましては、近年、深刻な少子化が進行し、中学校の生徒数の減少により、部活動の持続可能な運営が困難

なこと。また、競技経験のない教員が指導しなければならなかったり、休日も含めた部活動の指導により、教員の大きな業務負担となっていることが挙げられています。スポーツ庁の改革の方向性としては、休日の運動部活動から段階的に地域移行することを基本とし、令和５年度から令和７年度までの３年間で地域移行に向けた改革集中期間と位置付けております。

今後の教育委員会としての取り組みとしましては、令和４年度中に、町、地域の文化・スポーツ団体、学校等の関係者からなる協議会を設置し、休日の部活動の地域移行について検討をしていきます。今年度の１月末に検討協議会を開催する予定になっております。検討協議会のメンバーとしましては、町スポーツ協会の会長・副会長、町スポーツ少年団の本部長・指導者協議会長、河北スポーツクラブを代表する方、町芸術文化協会長、中学校の保護者・校長、教育長、学校教育課長、生涯学習課課長、学校教育課教育主幹になります。

令和５年度以降の取り組みとしましては、受け皿となる運営団体と学校との調整をしていただく人材を配置しまして、検討の際に調整・相談の窓口となって活動していただく予定になっております。

また、地域での文化・スポーツ活動の推進が図られるように、施設利用等の支援ということで、必要に応じて施設利用やスクールバスの運行を検討していくことになります。

それから、学校の外部指導者の情報や地域の文化・スポーツクラブ等の情報を集約し、情報の一元化を図っていくことになります。

森谷町長

皆さんから何か質問ありますか。

児玉委員

地域単位というのは、町だけを指すのか、それとも西村山単位を指すのか、どの程度の規模を考えていますか。

日下部課長

基本的には、河北町内でと考えております。ただし、状況によっては広域的な検討も必要になってくると思っています。

槇委員

現在、河北中学校の運動部が地域移行する場合、全部の運動部が地域へ環境的に移行できる状況にあるのですか。

日下部課長

今後、令和5年度以降に、どの部活動がこういった方向にもっていけるか協議していくようになります。全部受け皿があるかどうかといわれますと、受け皿になる団体等の状況を確認してみないと、何とも言えないと思います。

和田委員

卓球は、一部そういう状況になっていまして、河北町は盛んで、指導者も多くいることもあり、活動している状況にあります。ほかの部活動については大変なのかなと思います。

木嶋委員

受け皿の問題もあり、なかなか難しいと思います。

森谷町長

部活動の地域移行については、様々な課題がありますが、進めていかなければと思いますので、よろしく願いしたいと思います。

協議案件については以上になります。

4 その他

5 閉会

大泉課長補佐

これをもちまして、令和4年度 第1回河北町総合教育会議を閉会いたします。

～午後4時42分